

## 令和4年度 栗田保育園 「園の自己評価」

### 1. 園の保育・教育目標

子どもたちの主体的な学びと他者との関わりで生まれる経験を通じて、生涯にわたり自ら学び続ける人間を育てる。

### 2. 本年度の重点目標

3つの好きを手にいれよう 「自分が好き」「人が好き」「自然が好き」

#### ○ 目指す子ども像

- 1, 様々な環境に積極的に関り夢中になって遊ぶ子ども
- 2, 人とのつながりを大切にする子ども
- 3, 心も体もしなやかでたくましい子ども

### 3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
保育課程・指導	・園は目指している保育教育目標、本年度の重点目標を周知している。	A
	・教育指針の実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A
組織運営	・園長は保育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	B
研修（資質向上への取組）	・法人その他が実施する研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	A
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	B
	・保護者アンケートを実施し、改善に活用している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	B
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ・おたより等を活用している。	B
保護者・地域住民との連携	・保護者や学校、行政や地域の皆様、近隣企業様と交流し、保育・教育に生かす活動をしたり、連携して地域社会の振興に寄与できることに、ご理解いただいている。	B
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
保育環境整備	・子どもの成長に則した保育・教育環境になるよう工夫を重ねている。	A

### 4. 保護者アンケートなどから

- ・先生方が意欲的、優しい、相談にのってくれる、子どもの姿を伝えてくれる。
- ・家庭でできないことを経験させてもらえる。
- ・子どもが楽しそうに通っている。
- ・異年齢の交流があり、年齢関係なく園庭で遊んでいる。
- ・園全体で見守ってくれる雰囲気がある。

### 5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- ・今年度は、園庭に築山を増設したり、可動遊具を追加したりして子どもたちが創造的に遊べる環境づくりに力を入れた。引き続き、教育方針や園運営に関して、保護者に丁寧な説明が必要であると感じているので、園長だより、園だより、クラスだより等で発信していく。
- ・「子どもの最善の利益」を考え、さらに園内外の環境設定を工夫していく。
- ・同僚性を高めるために、職員間のミーティングを増やしたが、来年度も引き続き行い、保育の質の向上に努めたい。
- ・来年度から幼保連携型子ども園へ移行するので、地域に開かれた園を目指し、子育て支援に力を入れていく。